



洛陽名筆集目錄

上

藤木甲斐

賀茂

蓮光院

真如堂

龍善院

比叡山

春深

高野山
西方院

北小路宮内

堀江治部齋

巽甫

鳥山孫兵衛

荒木素白

内膳

道教

大石三右衛門

仇々木志須磨

七兵衛

雲竹

北向八郎右衛門

心惠

世尾庄六

村井了設

賀茂

筒井白雲子

古象進

藤木甲斐

仙洞悉領百千眷屬皆住極果

聖人譬如栴檀之林唯有栴

檀圍繞亦赤鬚而手捧玉鉢有

白足耳掛金環

うかゆらんがき
減りてはれうき
却る痛人一人
くし一明のあ
うきよのうき

上二

あはれうき
ゆきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

蓮光院

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

花狼藉風狂
啼多鶯鐘雨打時
離心風翅喘檻
舞下梅枝袖顧階
龍

うらうらられぬゆふうきあはる
もれもわれもみよやいとさるあは
るけけるもわあをまゝかんすな

酈濁

晚蕊尚開紅嫩
酒香初結白雲
暮夜遊人盡
尋來把酒
忘家
應亦惜
春

にふん いふも とも せよふいふし
いふはふふれふふふふふ

歎冬

點着岨黃天有意歎冬誤旋暮春風
書窓有卷相収拾紙無又束なり
かいつふふふふふふふふふふ
いふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ちふふふふふふふふふふふ

龍善院

自是三千

第一名

内家叢書獨

弘明

芙蓉殿上

中間日

水柏銀盤

美人化生

上

春深

尋得桃源好避

惜桃紅又見一年

春花飛莫遣隨

疏水怕有漢郎

來問律

得書中
知此意

是乃其本
 也此乃其
 末也此乃
 其末也此
 乃其末也

めけ久ふ能言新
世をわく世に回す
おれ特なきおれ
そと果一おれ
回るまをわく
おれおれおれ
乃るおれおれ

おれ

一

北
路
富
丹

天
夜
と
筒
見
世

お
白
と
玉

お
お
と

お
お
お
お
と

ト一の尺五寸

一丁度

中柄の四倍

一丁の

ためト力入りの

一丁の

堀江治部齋

無事新境入高橋

恒落秋江隱萬里

歩廻未收海公勅

あふれは自説印

あふれは自説印

あふれは自説印

あふれは自説印

鳥山巽甫

あふれは自説印

同矣

あふれは自説印

其心之
其心之
其心之

其心之
其心之
其心之

其心之
其心之
其心之

よめがたにきりかへ

きりかへ
きりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ
おれがたにきりかへ
おれがたにきりかへ
おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

おれがたにきりかへ

つるが同る

ちまき、ちまき

しるがへん

あつあつ

あつあつ

む

上

荒木素白

あつあつ

あつあつ

う

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

手
一
張
山
の
ら

ら
あ
ら
ら
い
さ

ろ
人
結
ら
ら
入

あ
ら
ら

腕々志須磨

漢
主
手

中
順
不

駢徐君

塚上廨

猶懸

安事之

名

おのゝ
あは
あは

あは
あは
あは

先口し一祝
名を打子之
未之始
精

口し一祝

名を打子之
未之始
精

此乃心氣也
心氣如風
心氣如風
心氣如風

北向雲竹

無諂曲以求人意亦復不為諸根所牽行少欲者心
則坦然無所憂畏觸事有餘無常不足有少欲
者則有涅槃是名少欲 汝等比丘若欲脫諸苦
惱當觀知足知足之法即是富樂安隱之處知足
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

よにみじ

やまゝとてふた水
あなはあな
ひのういさ
らふ

罌尾正慧

石本
留

玉葉
拋來
嵐空
拂

鳥獨

おきくはく

ら

はるのうら

ふ

いんちき

いんちき

け

生於上

吟華曉月

出定

村井了設

冬儀雅經

しやれもやうにひきあの
うはなにもれうか

ちぢぢぢぢぢ

幸ちのゝあすも
 ふるはすも
 ふるはすも

如くけりてふとて
はれあへてふとて

後唐僖宗四年

おきつるゝおふくのきせし
わゝゝゝみゝゝゝはよにきり

筒井白雲子

長樂鐘聲

花外集

就化柳

五牛涼

あゝあゝさうさう
あゝあゝさうさう
あゝあゝさうさう
あゝあゝさうさう

天台山臨濟寺

入木道林叢林吟龍軒白雲子誌之

